

8月・月例研修会

伊吹山霧中探索 & 醒ヶ井わくわく街道

8月4日(月)、未明から小雨がぱらつく。気象庁レーダーナウキャストと午前5時からBSフジのウェザーニュースで雨雲の詳細情報を得る。

午前8時に奈良を出発。多賀SAを過ぎ伊吹山が見えてきたが、山頂付近一帯は雲に覆われている。現地を確認すると時々小雨模様とのこと。ドライブウェイに入り高度800mぐらいになると霧が濃くなり、駐車場に到着すると視界が10m以下となる。幸い雨は降っていないが霧が濃いので、団体行動に気を付けて西登山道を登る。時々上昇気流に霧が流され、眼下に琵琶湖・米原や長浜などの町並みが広がる。高度差100mほどの山頂には、早いグループで約40分、最後尾のグループは、約40種ほどの花々をチェックしつつ約1時間で全員無事に到着。

代表的な花は、メタカラコウ・クガイソウ・リトラノオ・シモツケソウ・キンバイソウなど。白い小さい花のキヌタソウや細い葉のキバナノカワラマツバもあちこちに咲いていた。ヒヨクソウやイブキフウロ・オオヒナノウスツボ・キバナノレンリソウなどを見つけた時は嬉しかった。サラシナショウマは沢山の穂が出ていたが、白い花が一面に咲くのはもう少し後のようだ。そのかわりにアカソが一面に咲いていた。物凄く沢山あるのに何の花か分からなく、伊吹山を守っている人にお聞きすると、フジテンニンソウとのこと。物凄い勢いで蔓延して困っているとのことでした。

イブキフウロ ➡



イブキジャコウソウ



梅花藻



伊吹山山頂(1,377m)日本武尊石造前にて

昼食後、東登山道と中央登山道の2班に分かれて、12時30分に山頂をスタート。下り道での注意事項などを確認しつつ駐車場を目指す。「シロシタホタルガ」という珍しい蛾に出会う。真っ白い横一文字のラインが印象的である。幸い雨にも逢うことなく高山・亜高山帯の美しいお花畑に目をやり、足下にも気を付けながらの下山。13時40分にバス乗車、霧が一層濃くなりドライバーさんも超安全運転。

醒ヶ井に14時30分に到着。中山道沿いの地蔵川に群生する梅花藻を觀賞する。平成の名水百選第一位に選ばれた「居醒の清水」を水源とする湧水の川は、年間を通して14℃前後。このような清水が、ならやまに流れていたとすれば、趣の違った里山の再生ができたかもと空想することも……。白い可憐な梅に似た花に見とれつつ湧水の所へ歩を進める。清水で喉を潤す人、ペットボトルに詰める人も……。湧水場所にハリヨ(岐阜県と滋賀県のごく一部にしか生息していない絶滅危惧種)が1匹見つかる。ヴォーリズが設計した旧醒ヶ井郵便局(国の有形登録文化財に指定)等、醒ヶ井宿の佇まいにも見惚れていると、たちまち出発予定時間となる。

17時30分頃、無事奈良に帰着。霧中探索であったが、ご参加いただいた皆さんの表情から、沢山の高山・亜高山植物を見ることができた満足感をお見受けし、3人の担当幹事は胸を撫で下ろしました。有り難うございました。(鈴木末一)